

# 令和5年度 音楽総合学科 カリキュラムマップ〔電子オルガンコース〕

## 到達目標

### 1[知識・理解]

音楽の基礎的な理論や曲の生まれた背景を理解し、人に音楽を伝えるための知識を修得することができる。

(1) 幅広い音楽的知識を身につけ、音楽への理解を深めることができる。

### 2[思考・判断・表現]

音楽演奏や教育を行うにあたって必要な理論を適切に判断し、相手の理解に応じて伝え、必要に応じて教えることができる。

(1) 音楽的素養をもとに思考・判断・想像力をもって表現することができる。

### 3[技能]

音楽の専門家としての情報収集能力と技術をもち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。

(1) 音楽活動に必要な専門的技術・コミュニケーション能力を身につけることができる。

### 4[関心・意欲・態度]

常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通じて人とコミュニケーションを取ろうとする意欲がある。

(1) 自己の感性と人間性を養い、音楽と人や生活、社会とのつながりに関心を持って意欲的に取り組むことができる。

## ① [知識・理解]

## ② [思考・判断・表現]

## ③ [技能]

## ④ [関心・意欲・態度]

### 1年次

### 2年次

科目	期	科目名	① ② ③ ④				科目	期	科目名	① ② ③ ④			
			①	②	③	④				①	②	③	④
専門科目	前期	電子オルガンⅠ	/	/	/	/	前期	電子オルガンⅢ	○	◎	◎	○	
		電子オルガンキャリア実践Ⅰ	/	/	/	/		電子オルガンキャリア実践Ⅲ	○	◎	◎	○	
		電子オルガン応用実践Ⅰ	/	/	/	/		電子オルガン応用実践Ⅲ	◎	◎	○	○	
		ピアノ演習Ⅰ	/	/	/	/		ピアノ演習Ⅰ	○	◎	◎	○	
		和声法Ⅰ	◎	○	○	△		P・Or アンサンブルⅡ	△	◎	◎	○	
		音楽総合特講Ⅰ	◎	◎	○	○		音楽指導研究	○	◎	○	◎	
		音楽理論Ⅰ	◎	○	○	○		和声法Ⅲ	◎	○	○	△	
		音楽史Ⅰ	◎	○	○	○		音楽総合特講Ⅲ	◎	◎	○	○	
		ヴォーカルⅠ	○	◎	○	○		公務員・一般職試験対策Ⅱ	◎	◎	○	△	
		ソルフェージュⅠ	◎	○	△	○		ヴォーカルⅢ	○	◎	◎	△	
		音楽心理学	◎	○	△	◎		ソルフェージュⅢ	◎	○	○	△	
		発達心理学	◎	○	○	◎		スポーツ・レクリエーションⅡ	△	○	○	◎	
		子どもの保健	◎	○	△	△		和太鼓Ⅰ	△	○	◎	○	
		教育原理	◎	○	○	○		臨床における即興技法Ⅰ	◎	◎	◎	△	
	音楽療法実践Ⅰ	△	◎	◎	△	音楽療法・臨床	◎	◎	△	△			
	後期	電子オルガンⅡ	/	/	/	/	後期	音楽療法実践Ⅲ	◎	○	○	◎	
		電子オルガンキャリア実践Ⅱ	/	/	/	/		卒業研究Ⅰ	○	◎	◎	○	
		電子オルガン応用実践Ⅱ	/	/	/	/		電子オルガンⅣ	○	◎	◎	○	
		ピアノ演習Ⅱ	/	/	/	/		電子オルガンキャリア実践Ⅳ	○	◎	◎	○	
		和声法Ⅱ	◎	○	○	△		電子オルガン応用実践Ⅳ	◎	◎	○	○	
		音楽総合特講Ⅱ	◎	◎	○	○		ピアノ演習Ⅱ	○	◎	◎	○	
		音楽理論Ⅱ	◎	○	○	○		鍵盤楽器研究	○	◎	◎	○	
		音楽史Ⅱ	◎	○	○	○		和声法Ⅳ	◎	○	○	△	
		ヴォーカルⅡ	○	◎	○	○		楽器店実習	◎	○	-	◎	
		ソルフェージュⅡ	◎	○	△	○		ヴォーカルⅣ	○	◎	◎	△	
		スポーツ・レクリエーションⅠ	◎	○	○	◎		ソルフェージュⅣ	◎	△	◎	△	
		音楽療法演習	○	○	◎	◎		ポピュラー音楽史	○	○	○	◎	
		音楽療法・基礎	◎	◎	△	△		作譜	◎	△	○	○	
音楽療法実践Ⅱ		△	◎	◎	◎	スポーツ・レクリエーションⅢ		○	○	○	◎		
公務員・一般職試験対策Ⅰ	◎	◎	○	△	和太鼓Ⅱ	△	○	◎	○				
					社会福祉	◎	◎	△	○				
					特別支援教育	◎	○	○	○				
					臨床実習(事前・事後指導を含む)	◎	△	△	◎				
					臨床における即興技法Ⅱ	◎	○	○	○				
					音楽療法・技法	◎	◎	△	△				
					音楽療法実践Ⅳ	◎	○	○	◎				
					卒業研究Ⅱ	○	◎	◎	○				